



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 台風15号の被災状況とその復旧は 答 被害は町内全域に及び、早期復旧に努力

議員 各地で大きな被害をもたらした台風15号に関して、次の4件について伺います。
①町全体の被災状況と被害の大きかった被災箇所（被災場所）について
②降雨量と被災状況の関連分析について
③被害状況報告会開催の所感と主な住民要望について
④復旧事業の進め方等、今後の見通しについて

量が20ミリの降雨が5回あり、まとまった降雨で土砂災害が発生しやすい状況にあったところに、台風15号の通過に伴う大雨（総降雨量123ミ）により町内全域にわたって被災したものが

です。
③地区ごとに町からの情報を説明するとともに、地元の方々からの被災状況を確認する機会にもなり、開催意義の大きい報告会であったと感じており、参加者からも報告会の開催について評価の声をいただいています。
歩行者の安全確保のための歩道や側溝修繕の要望、河川内の倒木処理、増水のたびに冠水し作物に被害が出ることから、河川改修を望む意見が出されました。

決定と配分を受け次第、順次工事を発注していきます。
特に、農地については来年度の耕作に間に合うよう早期の復旧に努めます。

問 消防屯所の整備負担のあり方は

議員 消防団員の防災活動拠点となる消防団屯所整備の地元負担の実態と今後のあり方について伺います。

答 補助基準見直し負担を大幅軽減

町長 屯所整備への地元負担のあり方については、負担の適正化の観点から、平成23年度に補助基準事業費、補助率、基準面積を引き上げ、地元負担の大幅な軽減を図るなど、内容を大きく見直したところ です。



台風15号の大雨により流失した町道冠者沢線

また、屋外告知放送が聞こえない場所の解消を求める意見等がありました。
④これからの現地査定により事業費が確定します。
今後の予定は国への補助手続きを進め、年明け後に補正予算をお願いし、国の補助金交付



はしば せいこう 橋場 清廣 議員

問 予算編成の基本方針は 答 不安解消の施策を柱に据える

議員 鈴木町政2期目の町づくりに対する、新年度予算編成の基本方針は。

町長 町民が日常生活で感じている「不安」を解消していくことが、本当の豊かさや幸せにつながっていくものと考えており、これらの「不安」を一つひとつ解消し、安心して暮らせる町づくりを推進することが、最も優先して取り組む課題であると考えています。

このことから、2期目のスタートとなる新年度予算編成は、「安心して暮らせるまちづくり」の推進を基本方針とし、各種施策を積極的に展開していく考えです。
そのためには、大きく分けて次の5つの不安を解消する必要があります。
①健康・医療の不安

②子育ての不安
③所得向上・雇用創出・担い手育成に対する不安
④環境問題や災害時の不安
⑤人口減少に対する不安

これらの不安を解消するための施策を柱に据え、新年度予算を取りまとめたいと考えています。
来年度は、町総合計画後期基本計画の最終年度でもあります。

厳しい財政環境下においても諸施策を計画的に推進し、町民福祉の向上のため、創意工夫をこらし、事務事業の統廃合や再構築を積極的に進め、優先度、緊急度による選択を行い、限られた財源の効率的かつ有効的な活用に努め、「安心して暮らせるまちづくり」実現のための予算編成を進めていきます。

検討しています。
議会の権限として、法律上議会への報告義務が課せられているものについては、これまで同様に義務を履行していきます。
現行制度の中で対応できればと考えています

問 答弁の検討事項テレビで報告を

議員 質疑に対する答弁で「検討します」と答えることがあるが、答弁は議員のみならず町民に対しての答弁でもあり、重要課題などについては、時期を捉え、検討結果の報告をテレビで放送できないか。

答 議会への報告は法に沿って履行

町長 テレビでの議会中継は、町民の方々の町政に対する関心が高まり、町政への積極的な参加意欲につながるものと期待しています。
これまでの答弁において「検討します」と答弁申し上げた事項については、その後も真摯に



4月から、くすまきテレビで議会中継を行っています。



やまぎし み 山岸はる美 議員

問 原発事故、畜産等への影響額と対応は
答 影響額は、8月・9月の2カ月で612万円

議員 東京電力の原発事故の影響により、市場価格の下落と成牛市場が中止となり、廃用牛を出荷できないなど、畜産、酪農経営は厳しい状況にあるが、その影響額を把握しているのか。

また、JAGグループでは損害賠償請求を行っているが、今後の見通しと、賠償請求を円滑に進めるための町の対応は。

町長 次の点で影響を受けています。「農家が廃用牛の処理に苦慮」「市場が滞留」「市場価格の低迷」していることです。

「JAGグループ東京電力原子力発電事故農畜産物損害賠償対策協議会」が取りまとめた本町の初任牛と和牛仔牛の8月、9月分の請求額は、612万円と聞いています。

出荷頭数と過去の市場価格との差額から影響額を試算するこ

とは可能ですが、風評被害等、町全体、各農家の影響額の把握は難しい状況です。

盛岡広域振興局と町幹部との意見交換会でも、本町の公共施設の活用と市場での流通の促進を強く要望しており、今後も関係団体と協力しながら迅速な情報提供と速やかな損害賠償請求を要望していきます。

問 緊急車両の通行幅員が狭く難儀

議員 五日市地区のシツペナイ沢沿いの道路は、幅員も狭く、緊急車両等が通行する際に難儀することが想定されるが、改良、整備の考えは。

答 町内全体を対象計画的に整備を

町長 比較的小規模な道路は、



国等の補助基準に該当しないことから、町単独事業となり、整備の行き届かない箇所もあると認識しています。

ギーに取り組み町としてメディアで多く取り上げられ、町を訪れる人が増加しているが、エネルギー施設や観光施設を見つめることができなく、たびたび道を聞かれることがある。

問 道路の案内標識充実する考えは

議員 3月11日の大震災による原発事故以来、クリーンエネルギー

答 観光案内地図を商店などに置く

町長 町内施設への案内機能はある程度の水準にあるものと認識しています。

今後、町のホームページや観光パンフレットを充実するとともに、町外の方々が立ち寄りやすい店舗などに観光パンフレットや案内地図を置いてもらうなど、町の好感度が上がるような対策を考えていきます。

定例会で決まったこと

補正予算

◆一般会計

4110万円を追加し、53億7994万円となりました。

主なものは次のとおりです。

- ◆被災地生徒等受入支援事業費補助金 71万円
- ◆電柱等支障移転業務委託料 800万円
- ◆光ファイバー等通信用資材購入費 490万円
- ◆農地災害復旧対策事業費補助金 350万円
- ◆くずまき型農畜産物加工ブランド力強化支援事業費補助金 80万円
- ◆サブセンター等施設管理経費 100万円
- ◆農道管理経費 120万円
- ◆江刈地区中山間地域総合整備事業県営事業負担金 450万円
- ◆観光事業経費 120万円

◆特別会計 特別会計の補正予算は、次の表のとおりです。

会計名	補正額	補正後予算額
簡易水道業	0円	1億8,103万円 (歳出予算の組み替え)
農業集落排水	1,087万円	2億1,047万円
後期高齢者医療事業	373万円	7,018万円

(1万円未満は四捨五入)

請負契約

- ◆コミュニティセンター太陽光発電設備設置工事
- ・契約金額 1億4695万円
- ・契約相手 岩館電気株式会社
- ・工事期限 平成24年3月21日

臨時会

11月28日

条例改正

◆一般職の職員の給与に関する条例等の改正

人事院勧告に準じ、職員の月額給与を平均0.23割減額しました。

補正予算

◆一般会計

4億6795万円を追加し、58億4789万円となりました。主なものは次のとおりです。

- ◆台風15号被害に係る災害復旧費 4億3091万円
- ◆葛巻町災害復興基金積立金 2674万円
- ◆葛巻町災害復興基金条例
- ◆東日本大震災からの復興に向

人事案件

町の監査委員（知識経験者1人・議会選出1人）の選任について同意しました。

知識経験者委員には馬淵文雄氏（小田）、議会選出委員には辰柳敬一議員が選任されました。馬淵委員は新任で、辰柳委員は再任です。

任期は、馬淵委員が平成24年1月23日から、辰柳委員は、24年1月20日から4年間で。



まぶち ふみお 馬淵文雄氏